

市民の皆さんの思い・声・叫びがしっかりと届く千葉市政に！

千葉市議会議員（中央区） 議会 ニュース

植草 たけし 通信



Ue Takeshi Report

発行 植草たけし政務活動事務所 〒260-0031 千葉市中央区新千葉 3-6-11 TEL.043-238-1830 FAX.043-238-1831

日頃より温かいご支援とご指導を賜り、心より感謝申し上げます。

地域を取り巻く環境は年々変化し、少子高齢化や担い手不足など、これまで当たり前が続いてきた活動の継続が難しくなっています。私は、市政の役割とは、現場の善意に頼るだけでなく、その努力が持続できる「仕組み」を整えることに考えています。今回の議会では、地域活動の担い手不足という、いま最も深刻な課題の一つを取り上げました。テーマは「自治会」と「PTA」です。どちらも地域や子どもたちを支える大切な存在ですが、現場では静かに、しかし確実に限界が近づいています。

本号では、この議会質問の内容と、市に対して求めた具体的な支援策についてご報告いたします。地域を支える皆様の声を、市政にしっかりと届けてまいりますので、引き続きご意見をお寄せいただければ幸いです。 植草たけし



千葉市議会 令和7年第4回定例会 一般質問に関するご報告

1. 町内自治会と市の関わりについて

(1) 活動内容の把握について

町内自治会は、地域の防災訓練の実施、防犯パトロール、地域清掃や美化活動、高齢者の見守り、行事の企画運営など、まさに地域の安全とコミュニティを支える最前線として、市行政だけでは担いきれない多岐にわたる活動を行っております。

現在、本市の多くの町内自治会においては、高齢化が急速に進行しており、役員のみ手が見つからず、毎年のように役員選出で苦労しているという声を多数伺っています。また、町内自治会そのものの活動を維持することが困難となり、残念ながら解散に至った例も市内で生じており、加入率は減少の一途をたどっております。

地域の防犯・防災、清掃、福祉の見守り、祭礼や行事の運営など、地域の安全とコミュニティを支える基礎となるこれらの活動が弱体化することは、地域力の低下につながり、ひいては市全体の課題にも直結するものと考えます。

Q 市から依頼している業務を含め、町内自治会の主な活動内容について、どのように把握しているのでしょうか？

A 町内自治会の主な活動内容として、夏祭りや運動会といった行事の開催を通じて住民同士の親睦を深める活動のほか、防災・防犯・環境美化など幅広い分野にわたり、それぞれの地域の課題に則した活動が行われております。

また、市からは行政資料の回覧をお願いしているほか、廃棄物適正化推進員や選挙の投票立会人の推薦をはじめ、国勢調査の統計調査員等の募集などに対するご協力もいただいております。

(2) 町内自治会の担い手確保について

地域住民が力を合わせてまちづくりに取り組み、地域を住みよくしていくために、できるだけ多くの皆さんが地域活動と関わっていただきたいと考えていますが、働き盛りの世代は活動に参加する時間が取れないなど、担い手が見つからない状況であると認識しております。

また、役員の負担が大きいことや、町内自治会活動の意義が若い世代に十分に伝わっていないことなど、さまざまな要因がありますが、未来の地域づくりのためには、若い世代が自然に地域に関わり、活動に参加できる環境づくりが不可欠です。

Q 市として町内自治会の担い手確保に向け、地域団体間の連携を促し、また若い世代が参加しやすくなるような仕組みとして、例えばICTの導入支援などが必要と考えますが、具体的にどのような支援を講じていくのでしょうか？

A 担い手確保に向けた支援については、町内自治会とNPO団体など多様な主体との連携を促進し、地域課題の解決につなげていくとともに、事務の効率化が期待できるデジタルツールの紹介や、市から町内自治会へ依頼している事務や手続き方法の見直しに向けて業務の棚卸しを行うなど、町内自治会の負担軽減を図ることにより、担い手の確保に繋げて参りたいと考えております。

2. 千葉市PTA連絡協議会について

千葉市PTA連絡協議会（以下、「市P」）について伺います。市Pは、市内の小学校・中学校・特別支援学校のPTAを束ね、校種や地域を越えた情報共有の中核を担ってきました。保護者の声を集約して

市へ届け、研修・講演会の企画、通学路安全対策の協力、家庭教育に関する提案など、単独校のPTAでは担いきれない役割を果たし、教育行政にとって欠かせない存在であります。

さらに近年、市Pは学校単位のPTAの負担軽減に向け、PTA会費のキャッシュレス集金システムを全市的に提供し、会計事務の透明化や現金管理リスクの解消を図るなど、全国でも先進的な取組みを進めています。

これは市Pだからこそ可能な「横断的サービス」であり、本市のPTA活動の基盤を支えているものです。

Q これまでの市Pの活動実績について、どのような評価をしているのでしょうか。

A PTA連絡協議会は、毎年度、研究大会などを開催し、保護者間の情報交換の場を設けるとともに、今年度は指定都市情報交換会の開催市として、指定都市PTA間の相互連携の醸成に寄与しているものと考えております。

また、PTA連絡協議会などから学習環境や学校施設の改善について、貴重なご意見をいただいたことにより、教育施策として必要な予算の拡充を図ることができたと考えております。

このほか、審議会委員への参画を通じ、行政の各分野へ保護者の代表として意見を伝えていただくなど、子どもたちの教育や健やかな成長において重要な役割を担っていただいております。

Q 高く評価しているとのことですが、今後、市としてどのような役割を期待しているのでしょうか？

A 少子超高齢化や家族形態の多様化、情報化の進展に伴う人間関係の希薄化など、子どもたちを育む環境は大きく変わりつつあり、社会全体で子どもたちを育てていくという視点が従来にも増して大切になっていると考えております。

PTAと学校は、子どもたちの教育を支える両輪であり、PTA活動は学校行事のサポート、保護者同士の交流、教育環境の改善、学校運営への協力など、様々な形で学校と家庭を結びつけ、子どもたちの教育をサポートする役割を担っております。

一方で、PTA活動には保護者の負担が大きいことから、PTA連絡協議会には、学校単位で活動されるPTAをサポートし、今後も学校・家庭・地域・行政をつなぐ架け橋として、子どもたちの健全育成と本市教育の充実にご協力いただきたいと考えております。



【最近の活動紹介】

道路が使いやすくなりました。

【たけしの考え】

■ 自治会の現状と必要な支援

自治会は多様な活動を担っていますが、その“幅広さ”が担い手不足の一因となり、役員決めに苦勞する地域が増えています。地域ごとに課題が異なるため、デジタル化の紹介だけでは解決しません。

市には、現場の声の把握・地域に応じた支援・成功事例の共有を求めました。市内には高校生や現役世代が活躍する好事例もあり、こうした取組みを市がしっかり支え、広げることが重要です。

■ 「参加したくなる自治会」へ

担い手を増やすには、負担軽減だけでなく「参加すると楽しい」「地域に関わるメリットがある」と感じられる仕組みが必要です。提案として、地域活動ポイント制度、親子で参加できるイベント、子育て世代が関わりやすい仕掛けづくりなどを示しました。

■ PTAの負担は限界に近い

PTAは保護者の善意で支えられていますが、負担は限界に達しつつあり、加入校の減少も懸念されます。現場が求めているのは「感謝」ではなく、活動が楽になる仕組みです。キャッシュレス集金など先進的な取組みが進む一方、自主財源に頼る状況が続いており、行政の支援が必要だと訴えました。

■ 善意に依存しない体制へ

負担が一部の保護者に集中し、役員決めが大きなストレスになっています。教育委員会には、PTA加入促進への協力や、教員が参加しやすい環境づくり(ボランティア休暇制度の活用など)を求めました。

■ 地域を支えるのは“仕組み”

自治会もPTAも任意団体ですが、担い手不足が深刻化する今、「任意だから関与しない」という姿勢では持続できません。行政が本気で支える仕組みづくりが不可欠です。

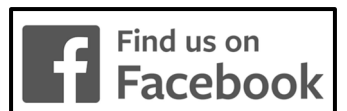
地域を支える皆さんの努力がきちんと報われる市政を目指し、今後も取組みを進めていきます。

活動ネットワーク

千葉市PTA連絡協議会会長
 千葉県立幕張総合高等学校同窓会会長
 千葉市社会福祉協議会西千葉地区部会監事
 法政大学経済学部同窓会常任幹事
 (一社)法政大学校友会千葉県校友会
 千葉中央支部常任幹事
 緑町中学区青少年相談員連絡会幹事
 登渡神社氏子会副本部長、登渡会副会長
 千葉市消防団1分団3部部長
 薬物乱用防止教育講師
 千葉市立緑町中学校PTA副会長
 保護司 / セーフティウォッチャー

主な役職・所属委員

保健消防委員長
 社会福祉審議会委員
 民生委員推薦会委員
 保健所運営協議会委員



植草 たけし 検索

facebook.com/uekusa.takeshi



千葉開府 900年

千の葉に 時を刻んで 900年